

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 緩やかに回復している

福岡県の景気は、生産活動は高水準で推移しているほか、個人消費も底堅く推移しているなど、総じてみると、緩やかに回復しています。

(山田 耀介)

1. 生産活動 | 高水準で推移している

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)は、前月比3.0%上昇の108.5となりました。

主要業種では、バルブ・コックやクレーンの生産が減少した「汎用・生産用機械工業」や、鋼管の生産が減少した「金属製品工業」が低下したものの、エンジンや駆動伝導及び操縦装置部品、四輪自動車の生産が増加した「輸送機械工業」や、トランジスタの生産が増加した「電子部品・デバイス工業」が上昇するなど、全体としては、高水準で推移しています。

■福岡県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



2. 個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.8%減の約511億円となりました。

商品別では、主力の「衣料品」が前年同月比5.8%減、「飲食料品」が同0.9%減となりました。

また、新車登録台数も、前年同月比0.5%減の12,386台となりましたが、コンビニエンスストア販売額は、前年同月比2.7%増の約422億円となるなど、全体としては、底堅く推移しています。

■福岡県の新車登録台数(前年比)



■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



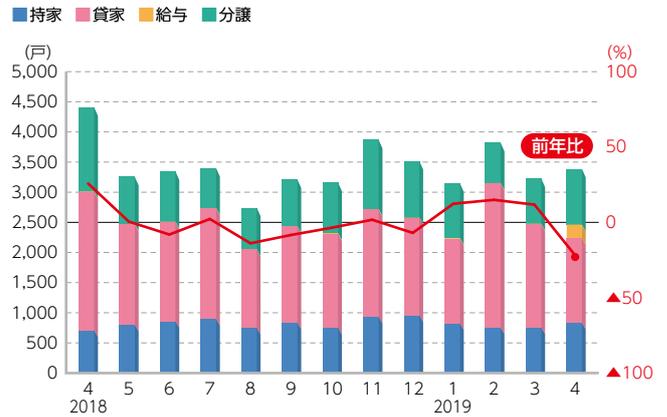
3.住宅建設 | 4カ月ぶりに前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比23.2%減の3,444戸となりました。

「持家」「給与」「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「貸家」「分譲(マンション)」が前年を下回り、全体では、4カ月ぶりに前年を下回りました。

福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



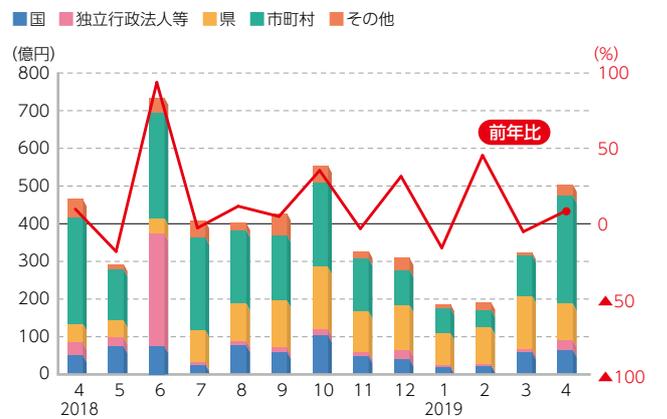
4.公共工事 | 2カ月ぶりに前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比4.5%増の506件、請負金額が同8.3%増の約512億円となりました。

発注者別では、「独立行政法人等」「その他公共的団体」が前年を下回ったものの、高架道路の大型工事があった「国」や、情報通信設備の大型工事があった「都道府県」、各種施設の建設・設備更新の大型工事があった「市町村」が前年を上回り、全体では、2カ月ぶりに前年を上回りました。

福岡県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



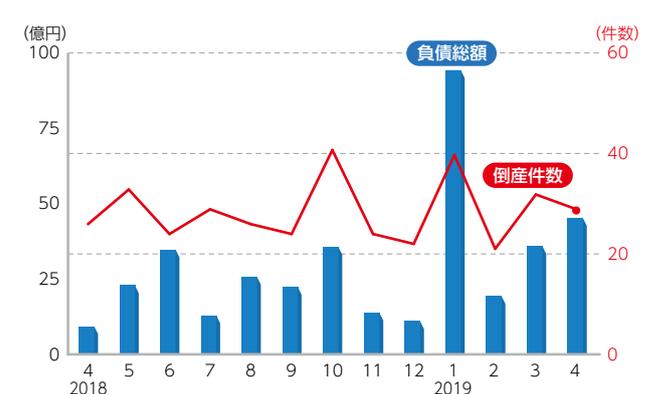
5.企業倒産 | 負債総額は4カ月連続で前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比3件増の29件、負債総額が同387.8%増の約46億円となりました。

負債額1億円以上の倒産は、「健康食品・化粧品通信販売業」での約13億円、「化粧品販売業」での約13億円の大型倒産をはじめ計9件発生するなど、件数は2カ月ぶりに前年を上回り、負債総額は4カ月連続で前年を上回りました。

福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 緩やかな回復基調

熊本県の景気は、生産活動は一部に弱さがみられるものの、高水準で推移しているほか、個人消費も底堅く推移しているなど、総じてみると、緩やかな回復基調にあります。

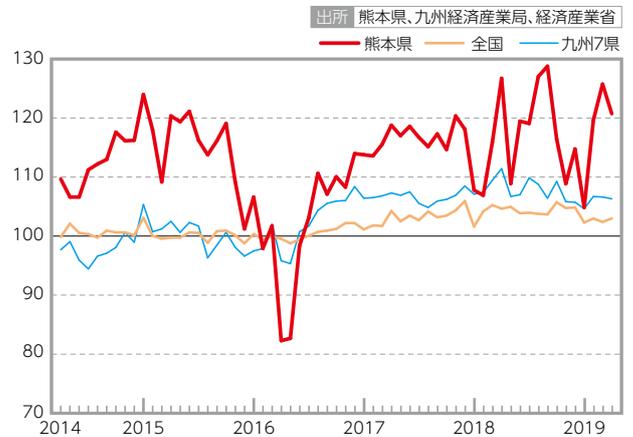
(山田 耀介)

1.生産活動 | 一部に弱さがみられるものの、高水準で推移している

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)は、前月比4.0%低下の120.9となりました。

主要業種では、集積回路の生産が増加した「電子部品・デバイス工業」や、飲料の生産が増加した「食料品・たばこ工業」が上昇したものの、「汎用・生産用機械工業」「輸送機械工業」が低下するなど、全体としては、一部に弱さがみられるものの、高水準で推移しています。

■熊本県の鉱工業生産指数(季節調整値、2015年=100)



2.個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.9%減の約122億円となりました。

商品別では、主力の「衣料品」が前年同月比7.7%減、「飲食料品」が前年同月同水準となりました。

また、新車登録台数も、前年同月比0.8%減の4,883台となりましたが、コンビニエンスストア販売額は、前年同月比1.3%増の約136億円となるなど、全体としては、底堅く推移しています。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■熊本県の新車登録台数(前年比)



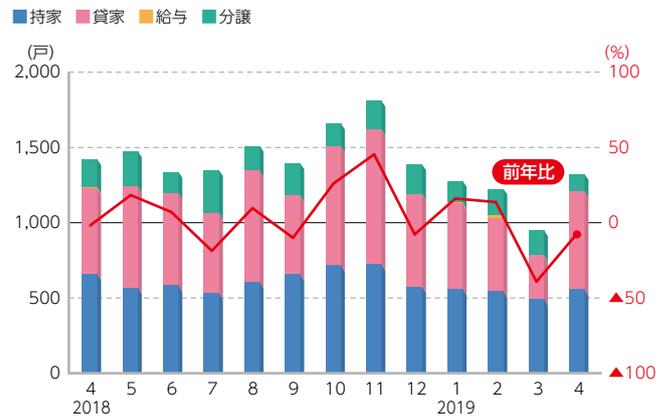
3.住宅建設 | 2カ月連続で前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比6.9%減の1,336戸となりました。

「貸家」が前年を上回ったものの、「持家」「給与」「分譲(戸建・マンション)」が前年を下回り、全体では、2カ月連続で前年を下回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 6カ月連続で前年を下回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比20.8%増の418件、請負金額が同2.3%減の約408億円となりました。

災害復旧工事の受注が徐々に減少しており、発注者別では、トンネル建設の大型工事があった「国」や、公営住宅建設の大型工事があった「独立行政法人等」、ごみ処理施設建設の大型工事があった「その他公共的団体」などが前年を上回ったものの、「市町村」が前年を大きく下回り、全体では、6カ月連続で前年を下回りました。

■ 熊本県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は3カ月ぶりに前年を下回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比2件増の7件、負債総額が同70.6%減の約2億円となりました。

負債額1億円以上の倒産は発生せず、件数は3カ月連続で前年を上回ったものの、負債総額は3カ月ぶりに前年を下回りました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きがみられる

長崎県の景気は、生産活動は一部に弱さがみられるものの、個人消費は底堅く推移しているなど、総じてみると、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きがみられます。

(山田 耀介)

1. 生産活動 | 一部に弱さがみられる

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)は、前月比7.1%上昇の77.1となりました。

主要業種では、クレーンの生産が減少した「汎用・生産用・業務用機械工業」や、半導体集積回路の生産が減少した「電子部品・デバイス工業」が低下したものの、調味料の生産が増加した「食料品工業」や、新造船の生産が増加した「輸送機械工業」が上昇しました。一方で、約20%のウエイトを占める「汎用・生産用・業務用機械工業」が前年同月比72.1%低下(原指数比較)の低水準で推移しているなど、一部に弱さがみられます。

■長崎県の鉱工業生産指数(季節調整値、2015年=100)



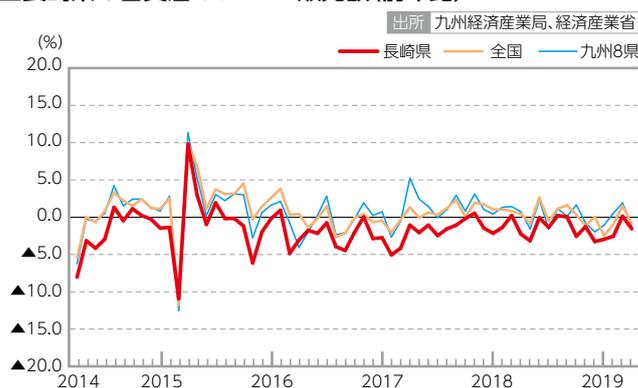
2. 個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.1%減の約79億円となりました。

商品別では、主力の「衣料品」が前年同月比6.2%減、「飲食料品」が同2.1%増となりました。

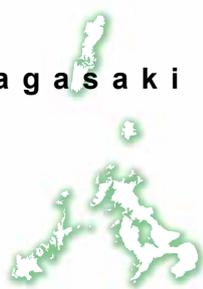
また、新車登録台数も、前年同月比3.3%減の2,983台となりましたが、コンビニエンスストア販売額は、前年同月比1.5%増の約88億円となるなど、全体としては、底堅く推移しています。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■長崎県の新車登録台数(前年比)





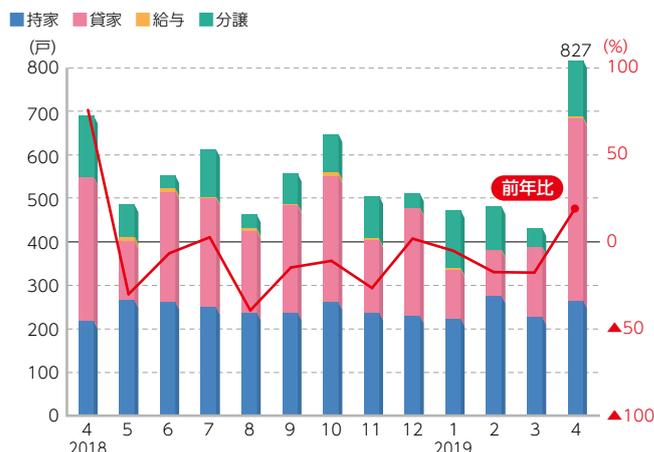
3.住宅建設 | 4カ月ぶりに前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比18.5%増の827戸となりました。

「分譲(戸建・マンション)」が前年を下回ったものの、「持家」「貸家」「給与」が前年を上回り、全体では、4カ月ぶりに前年を上回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 3カ月ぶりに前年を下回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比25.5%増の354件、請負金額が同6.7%減の約408億円となりました。

発注者別では、情報通信設備の大型工事があった「市町村」などが前年を上回ったものの、「独立行政法人等」「都道府県」が前年を下回り、全体では、3カ月ぶりに前年を下回りました。

■長崎県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は7カ月ぶりに前年を下回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比3件減の4件、負債総額が同27.8%減の約1億円となりました。

負債額1億円以上の倒産は発生せず、件数は3カ月連続で前年を下回り、負債総額は7カ月ぶりに前年を下回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 持ち直しの動きがみられる

佐賀県の景気は、生産活動は持ち直しの動きがみられるほか、個人消費も一部に弱さがみられるものの、底堅く推移しているなど、総じてみると、持ち直しの動きがみられます。

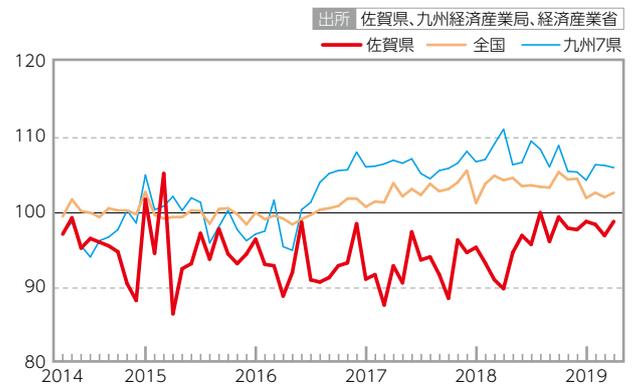
(山田 耀介)

1. 生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)は、前月比2.0%上昇の98.9となりました。

主要業種では、「化学工業」が低下したものの、「輸送機械工業」が上昇するなど、全体としては、持ち直しの動きがみられます。

■佐賀県の鉱工業生産指数(季節調整値、2010年=100、全国・九州は2015年=100)



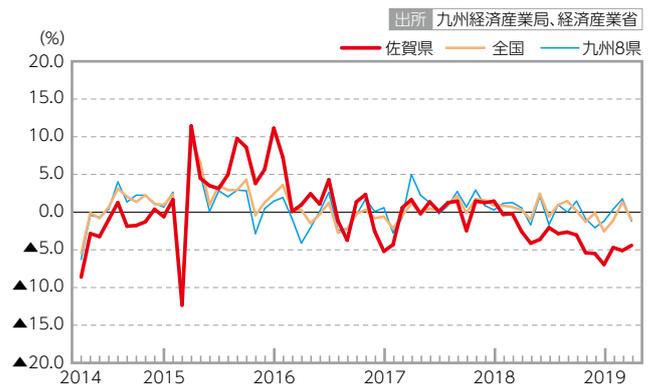
2. 個人消費 | 一部に弱さがみられるものの、底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比4.9%減の約47億円となりました。

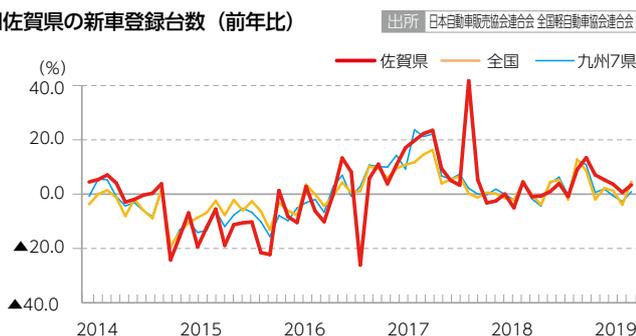
商品別では、主力の「衣料品」が前年同月比9.2%減、「飲食料品」が同3.3%減となりました。

一方、新車登録台数は、前年同月比2.1%増の2,223台、コンビニエンスストア販売額は、前年同月比2.1%増の約63億円となるなど、全体としては、一部に弱さがみられるものの、底堅く推移しています。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■佐賀県の新車登録台数(前年比)





3.住宅建設 | 3カ月連続で前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比66.2%増の645戸となりました。

「給与」が前年を下回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を上回り、全体では、3カ月連続で前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 2カ月ぶりに前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比11.9%増の197件、請負金額が同21.9%増の約225億円となりました。

発注者別では、「国」「都道府県」が前年を下回ったものの、新幹線関連の大型工事があった「独立行政法人等」や、複合公共施設建設の大型工事があった「市町村」、廃棄物処理施設建設の大型工事があった「その他公共的団体」が前年を上回り、全体では、2カ月ぶりに前年を上回りました。

■佐賀県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



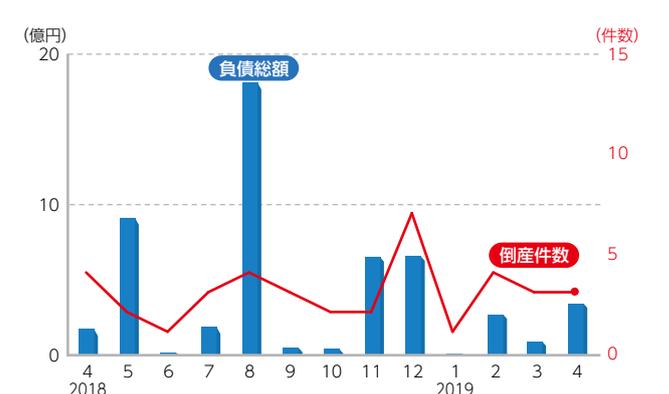
5.企業倒産 | 負債総額は3カ月連続で前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比1件減の3件、負債総額が同98.9%増の約3億円となりました。

負債額1億円以上の倒産は、「障害者福祉事業」での約3億円の倒産が発生するなど、件数は3カ月ぶりに前年を下回りましたが、負債総額は3カ月連続で前年を上回りました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 持ち直しの動きがみられる

大分県の景気は、生産活動は持ち直しの動きがみられるほか、個人消費も底堅く推移しているなど、総じてみると、持ち直しの動きがみられます。

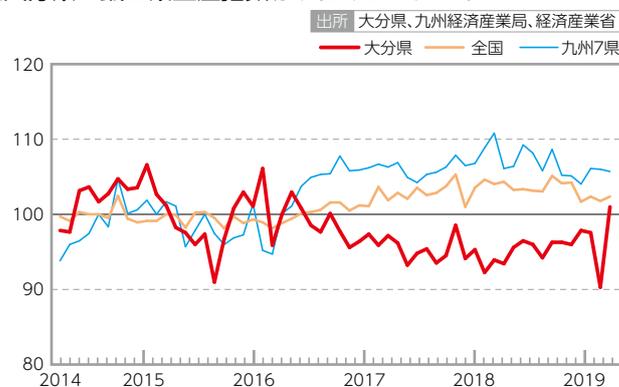
(山田 耀介)

1.生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)は、前月比12.0%上昇の101.4となりました。

主要業種では、「汎用・生産用・業務用機械工業」が低下したものの、「化学・石油製品工業」「非鉄金属・金属製品工業」「輸送機械工業」が上昇するなど、全体としては、持ち直しの動きがみられます。

■大分県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



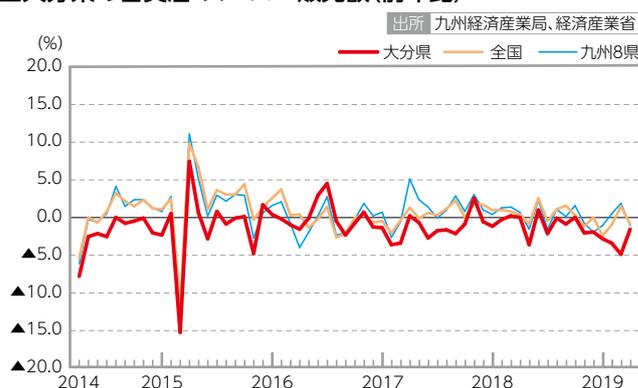
2.個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.1%減の約79億円となりました。

商品別では、主力の「衣料品」が前年同月比5.3%減、「飲食料品」が同0.7%増となりました。

また、新車登録台数も、前年同月比3.4%減の3,166台となりましたが、コンビニエンスストア販売額は、前年同月比2.3%増の約84億円となるなど、全体としては、底堅く推移しています。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■大分県の新車登録台数(前年比)





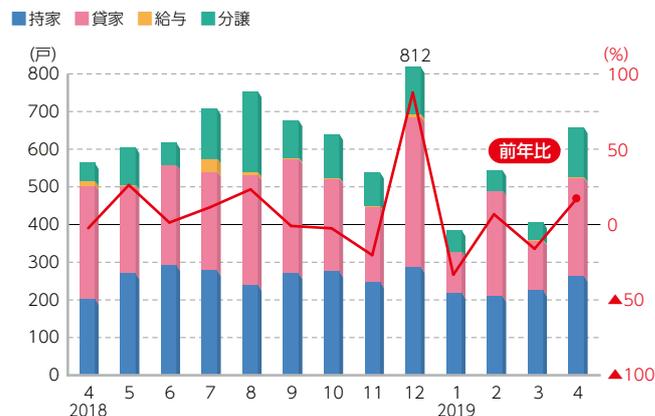
3.住宅建設 | 2カ月ぶりに前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比16.4%増の666戸となりました。

「貸家」「給与」が前年を下回ったものの、「持家」「分譲(戸建・マンション)」が前年を上回り、全体では、2カ月ぶりに前年を上回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 5カ月ぶりに前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比20.5%増の399件、請負金額が同40.8%増の約369億円となりました。

発注者別では、「独立行政法人等」「その他公共的団体」が前年を下回ったものの、発電所改修や病院改修の大型工事があった「都道府県」や、複合公共施設建設の大型工事があった「市町村」などが前年を上回り、全体では、5カ月ぶりに前年を上回りました。

■大分県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



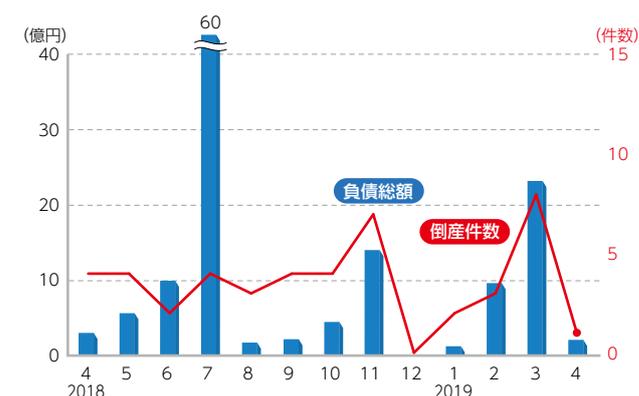
5.企業倒産 | 負債総額は2カ月連続で前年を下回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比3件減の1件、負債総額が同30.7%減の約2億円となりました。

負債額1億円以上の倒産は、「樹木伐採・搬出業」での約2億円の倒産が発生しましたが、件数は3カ月ぶりに前年を下回り、負債総額は2カ月連続で前年を下回りました。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 持ち直しの動きがみられる

宮崎県の景気は、生産活動は横ばい圏内で推移しているほか、個人消費も底堅く推移しているなど、総じてみると、持ち直しの動きがみられます。

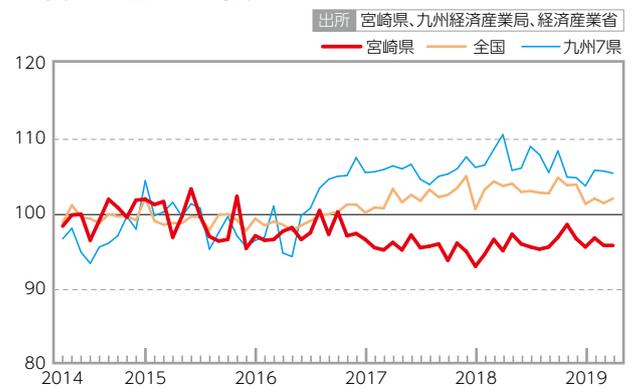
(山田 耀介)

1. 生産活動 | 横ばい圏内で推移している

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)は、前月同水準の96.5となりました。

主要業種では、「食料品工業」「電子部品・デバイス工業」が低下したものの、「化学工業」「その他工業(印刷・プラスチック・ゴム・その他)」が上昇するなど、全体としては、横ばい圏内で推移しています。

■宮崎県の鉱工業生産指数(季節調整値、2015年=100)



2. 個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.1%減の約53億円となりました。

商品別では、主力の「衣料品」が前年同月比6.1%減、「飲食料品」が同2.2%増となりました。

一方、新車登録台数は、前年同月比1.8%増の3,156台、コンビニエンスストア販売額は、前年同月比3.7%増の約74億円となるなど、全体としては、底堅く推移しています。

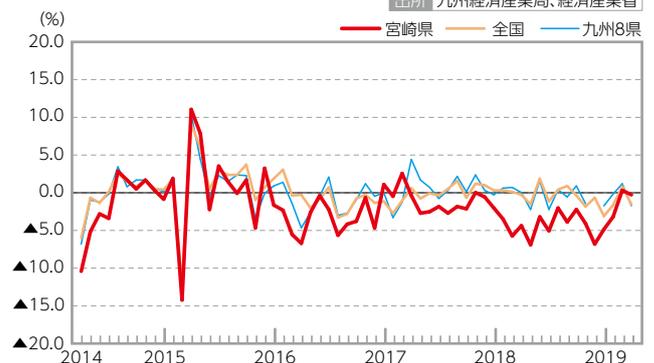
■宮崎県の新車登録台数(前年比)

出所 日本自動車販売協会連合会 全国自動車協会連合会



■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)

出所 九州経済産業局、経済産業省





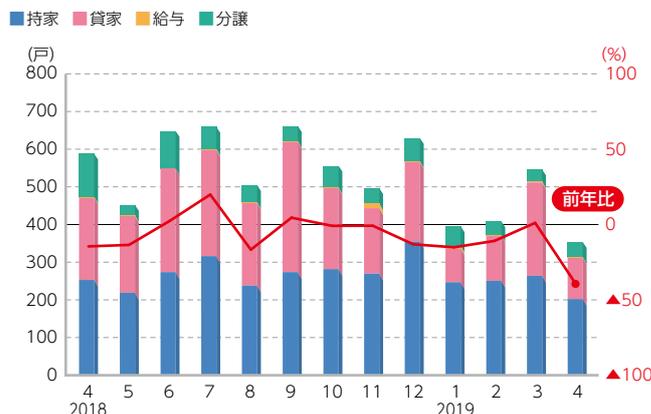
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比39.9%減の356戸となりました。

前年同月同水準の「給与」を除き、全ての利用関係において前年を下回り、全体では、2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



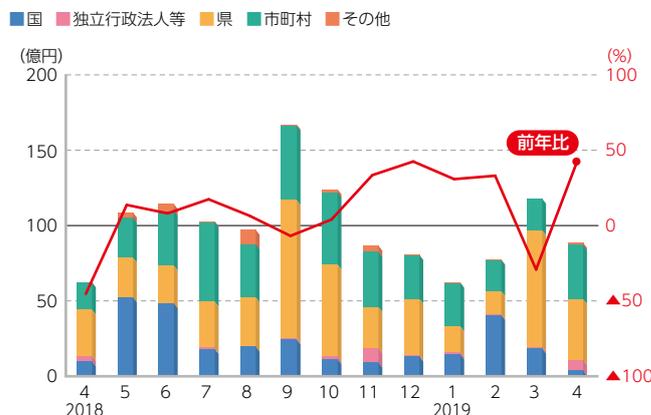
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比57.3%増の236件、請負金額が同42.1%増の約88億円となりました。

発注者別では、「国」が前年を下回ったものの、「独立行政法人等」「都道府県」「市町村」「その他公共的団体」が前年を上回り、全体では、2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■宮崎県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は4ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比1件増の2件、負債総額が同約12倍の約2億円となりました。

負債額1億円以上の倒産は、「不動産仲介業」での約2億円の倒産が発生するなど、件数、負債総額ともに4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 緩やかな回復基調

鹿児島県の景気は、生産活動は一部に弱さがみられるものの、高水準で推移しているほか、個人消費も底堅く推移しているなど、総じてみると、緩やかな回復基調にあります。

(山田 耀介)

1.生産活動 | 一部に弱さがみられるものの、高水準で推移している

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)は、前月比3.7%上昇の107.8となりました。

主要業種では、「電子部品・デバイス工業」「食品工業」が低下したものの、「電気・情報通信機械工業」「窯業・土石製品工業」が上昇するなど、全体としては、一部に弱さがみられるものの、高水準で推移しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数(季節調整値, 2015年=100)



2.個人消費 | 底堅く推移している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.9%減の約116億円となりました。

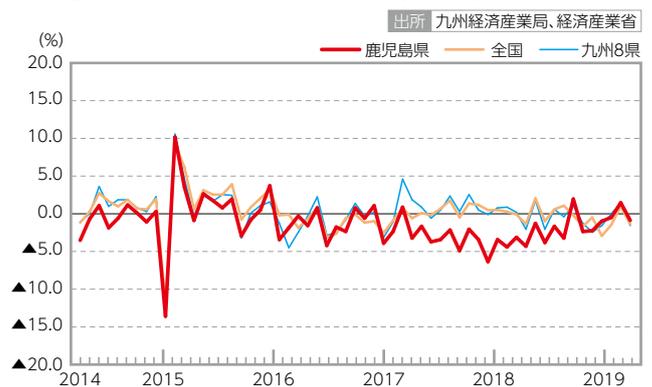
商品別では、主力の「衣料品」が前年同月比3.2%減、「飲食料品」が同0.9%減となりました。

一方、新車登録台数は、前年同月比2.1%増の4,045台となるなど、全体としては、底堅く推移しています。

■鹿児島県の新車登録台数(前年比)



■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





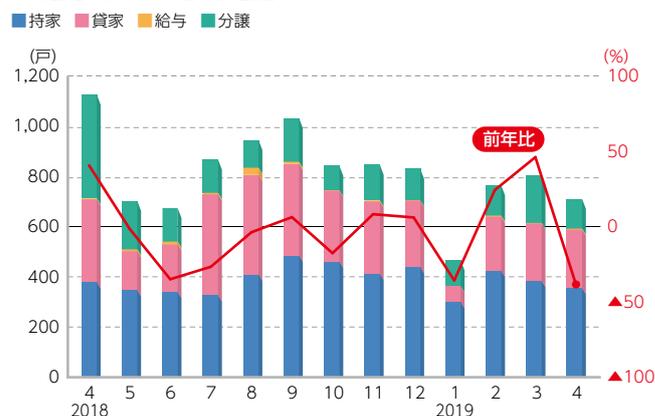
3.住宅建設 | 3ヵ月ぶりに前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比36.8%減の719戸となりました。

「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(マンション)」が前年を下回り、全体では、3ヵ月ぶりに前年を下回りました。

鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 5ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比21.8%増の441件、請負金額が同17.8%増の約201億円となりました。

発注者別では、「その他公共的団体」が前年を下回ったものの、トンネル整備の大型工事があった「都道府県」や、清掃工場建設の大型工事があった「市町村」などが前年を上回り、全体では、5ヵ月ぶりに前年を上回りました。

鹿児島県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は2ヵ月ぶりに前年を下回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比4件減の6件、負債総額が同35.6%減の約6億円となりました。

負債額1億円以上の倒産は、「ガソリンスタンド経営業」での約3億円、「建設コンサルタント・測量業」での約2億円の倒産が発生しましたが、件数、負債総額ともに2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

